



# 文化伝承事業 塩田による塩づくり教室

標記の恒例の事業が、2日にわたり実施された。この事業は、当協会会員が中心の「塩田による塩づくり実行委員会」が、金沢区地域振興課より区の文化伝承事業として委託されているもので今年度は15回目である。7月16日午前9時より区役所で、20名の小・中学生が、「金沢区での塩づくり」「塩田による塩の作り方」

等の歴史や方法について学習してから4班に分かれ、当委員会及び横濱金澤シティガイド協会のスタッフの引率・案内により「塩の道を歩く」に出発。朝夷奈切通しを越え、鎌倉・十二所の「塩當地蔵」光触寺まで歩き、往時の塩運びに思いを巡らせた。7月24日(日)には午前8時30分から、晴天に恵まれた海の公園パーベキュー場側浜辺で、小学生21名・保護者22名・スタッフ21名が実際の塩づくりに参加した。砂浜に塩田を4面設置。海水汲み・海水撒布・畝づくりを2回繰り返し、鹹砂(かんさ)の濾過・鹹水採取・煮詰め・ニガリ抜き等一連の作業をスタッフのリードで実施。参加した小学生には、殆どが初めての体験だったが、手際よく作業を終えた。煮詰め作業中に昼食をとり、その後、班別に西瓜割りを行ない、自作の塩をかけて食べる子も見られた。事故もなく、予定通り良い塩を採取して、皆で分け合い、午後2時過ぎに解散した。(深津米男)



NPO法人  
横浜金沢文化協会  
ホームページ  
<http://www.yk-bunka.com>  
メールアドレス  
[ykbunka@gmail.com](mailto:ykbunka@gmail.com)  
編集人 金間 誠一  
☎ 775-1612  
発行 理事 橋川 和夫  
印刷 幸栄印刷株式会社  
☎ 716-3366

## 畠山重保公顕彰墓参会

歴史・史跡・文化財伝承保全活動の一環として、横浜金沢文化協会主催の「畠山重保公顕彰墓参会」が6月22日、釜利谷の白山トンネル北側にある畠山六郎重保公廟所にて開催された。臨済宗白山東光禅寺と曹洞宗竹窟山禅林寺の住職・副住職が法要を行うとともに、当協会の会長・理事長ら計16人で経を唱え墓前で合掌した。

なお、畠山六郎重保公は、源頼朝の重臣だった畠山重忠の嫡男で、禅林寺の境外墓地である当「畠山六郎重保公廟所」に祀られている。(川浪舎人)



「禅」のつどい  
「坐禅体験と精進料理」  
横浜金沢文化協会主催事業の「禅」のつどい「坐禅体験・精進料理」が7月5日(火)、臨済宗白山東光禅寺で開催された。先ずは、本堂内にて、18人の参加者が坐禅を体験したが、内15人は、坐禅初体験とのことであった。坐禅は、若い副住職の懇切丁寧な指導のもと行なわれた。特に「警策」と呼ばれる平たい棒で両肩を叩かれる行事は印象的であった。副住職の説教によると、「坐禅は、お釈迦様が悟りを開かれたときの姿、人が誰しも持っている仏心に気付き外に教えを求めめるのではなく、先ずは自分自身の内面へ目を向けて行く修養である・・・。」とのこと。坐禅終了後、全員で「白隠禅師坐禅和讃」を朗読した。その後、席を和室へ移し、「精進料理」(鎌倉鉢の木・調理)を有難く頂戴し、有意義な体験をした喜びに心も豊かに足も軽く帰途に付いた。(川浪舎人)



# ～悠久につなぐ～ 金沢公会堂さよならコンサート



44年の長きにわたって金沢区民に、活動の場を提供してくれた金沢公会堂の最後の日である3月13日(日)、同公会堂にて、横浜金沢文化協会主催の「悠久につなぐ～金沢公会堂さよならコンサート」が開催された。計画から実施に至るまで大勢の区民の方々の協賛、協力、励ましをいただいた。コンサートは二部構成で、第一部は『六浦睦木遣囃子保存会』による木遣で幕が開き、お囃子、舞が披露され、



続いて10人の小中学校生からなる『おこと隊2016』の箏曲、『六浦子供セミナー』による仕舞連吟、能見台小学校の『チーム響輝』の和太鼓など若い世代が伝統芸能にとり組む姿を見せてくれた。第二部は、フォーレ作曲の『レクイエム』を125名の合唱団、横浜金沢交響楽団(金沢シンフォニカ)、ソプラノの佐伯葉子氏、バリトンの杉山範雄氏、指揮者の立石洋介氏という豪華メンバーの演奏が公会堂いっぱいに響き渡り、美しい旋律が心を満たしてくれた。最後の全員での「蛍の光」の合唱も金沢公会堂とのお別れにふさわしく感動的だった。

(橋本藤子)



## 横浜金沢文化協会 通常総会



5月29日(日)午後1時から横浜市立大学カメリアホールで、平成28年度通常総会が開催された。司会は深津事務局長。会員総数146名中、121名(書面評決・委任評決を含む)が参加。協会を代表して橋川理事長の挨拶、来賓の國原章弘金沢区長、区選出議員団を代表して松崎淳県会議員の祝辞があった。議長には、坂副理事長が選任され、議事は次の通り進行した。

- 第1号議案 平成27年度事業報告  
並びに収支決算報告
- 第2号議案 平成28年度事業計画案  
並びに収支予算案
- 第3号議案 平成28、29年度役員(理事)選任の件

以上、各議案とも異議なく承認された。議事終了後、深津事務局長から協会の事業を主催、共催、後援に仕分けする規定の改正が報告され、新理事の紹介後、午後2時30分に無事終了した。

(深津米男)



# 煎茶を楽しむ会



3月15日、金沢地区センターにて、金沢煎茶道会による「煎茶を楽しむ会」の講座が催され、30名が参加しました。茶席では、床に「桃花千歳春」の幅と「桃の花・貝母」が生けられ、お茶、お菓子の頂き方など、お客様の心得を学び、金沢区にゆかりのある煎茶愛好家であった伊藤博文公旧蔵の茶碗(写し)で玉露を味わいました。手前を拝見しながら唐の時代から文人が伝えてきた煎茶が日本の伝統文化として続いて来た歴史を漢詩を交えて辿りました。

二部では、一班5人に分かれ、各講師の指導のもと、煎茶点前を体験しました。茶席の緊張感も解けて和気藹々の中、一期一会の出会いの時を受講生と共に満喫しました。(坂下静雅)

金沢茶道会設立35周年記念茶会を5月22日(日)、金沢地区センター2階の全室を使用して開催しました。午前9時半から大会議室にて式典を行い、来賓を代表して金沢区副区長齋藤勝敏様の祝辞を頂きました。続く記念講演では、金沢町内会連合理事長の金子裕様が、「区民待望の地域施設・金沢地区センターとは」と題して講演されました。式典後記念茶会に移り、和室では裏千家の茶席、ロビーでは表千家と江戸千家合同茶席に分かれて、道具組と抹茶、主菓子を楽しんでいただきました。余暇室では体験コーナーを設けて実際にお茶を点でてもらい、大会議室を半分仕切って香煎席を設け、フランス製のグラスでミニントティーを楽しんでいただきました。なお、お客様には金沢茶道会の歴史をまとめた記念冊子をお茶券に添えて配りました。(門間宗映)

## 金沢茶道会 35周年記念 茶会



## 「旧川合玉堂邸」春の野点

5月7日(土)金沢茶道会は、新緑の旧川合玉堂邸の庭園で行われた「春の野点」において呈茶で協力が参加致しました。雨は上がり良い天気になりましたが風が強く、野点傘の短冊掛けが回り、活けた花が風に当たり、萎れてしまいましたので、午前と午後で花を替えました。午前は、「破れ傘、琉球月見草、白の升麻」、午後は「矢筈芭、都忘れ、赤の大根草」を活けました。お菓子は、恒例の紅谷の干菓子で300名のお客様に大変喜ばれました。母屋跡に綱を張り巡らせて、玉堂の絵を飾りポラントエアの方々が説明をしておりました。建物の再建復興を心から希望します。(門間宗映)

## 文化講演会

# 南極越冬活動体験談

標記の文化講演会が、3月24日(木)、金沢地区センターで開催された。講師の宮道光平氏は小田小学校出身。名古屋大学大学院で地球温暖化の研究をし、第55次南極地域観測隊に参加され、担当業務の南極の空気や海などの観測に当られた。講演会場には、南極の水及び防寒具や靴が展示され、聴衆の期待感が高まる中、講演が始まった。「昭和基地へはオーストラリアから3週間かかる」「氷の厚さは富士山の高さを超えるものもある」「南極大陸の面積は日本の約37倍」など驚くことばかり。南極で体験された興味ある事柄を分かり易く披露されて、小学生を含む聴衆の反応は大変良かった。(橋本藤子)





金沢区書道協会展は、平成28年4月20日(水)～26日(火)、磯子区民文化センター杉田劇場・ギャラリーで開催されました。

# 金沢区書道協会展

今回は、30回記念として、初めて出品者が寸庵色紙に、その時の想い・心持を書きました。それを入口の壁面に展示して、とても好評でした。日本の色・藍をバックに色紙がとも引き立ち、嬉しそうです。

この金沢区書道展の特色は、並ぶ作品群が多様で色彩的にも豊かさを感じます。格調の楷書、内に秘めた奔放な行・草体。また、日本人の心の機微をうたう仮名作品の流麗さは、それ自体でうつくしいものです。また、大・小作品がバランスよく並び、鑑賞にリズムが出て楽しいものでした。

又、この展覧会の懇親会は4月29日(祝)、テクノタワーホテルで、昼のコースをカラオケと共に楽しみ、来季作品展に向け、「より前進」を合言葉に、富士山と楽しい時を過ごしました。

(高橋清溪)

# 第8回 金沢区美術協会・会員展

第18回金沢区美術協会・会員展が、「見る楽しみ」、「描く楽しみ」、「発表する喜び」をテーマに、7月20日(水)から7月25日(月)まで、神奈川区民文化センター・かなっくホールギャラリーで開催されました。

出品者数は56名で、サイズは、6号から100号までの86点の作品が展示されました。ジャンル別では、水彩が46点、油彩が31点、水墨4点、アクリル3点、木炭1点、彫刻1点と広い分野での出品となりました。

会場では、出品者と来場者との間で、作品の感想や作成にあたっての思いや、苦労話等があちらこちらで、花を咲かせていました。

また、オープニングパーティーでは、金沢区美術協会と他地域の美術団体との間で情報、意見交換などが行われ、和気あいあいの中、今後とも意欲的に活動をして行きたいとのことで盛り上がりました。(吉野孝行)



# 金沢吹奏楽団の第45回定期演奏会



みだしの演奏会が6月26日(日)、逗子文化プラザホール「なぎさホール」にて、横浜金沢文化協会の共催を得て実施されました。岩田晴之氏指揮の第1部は、吹奏楽オリジナル作品に加え、J.S.バッハのオルガン曲にも挑み、260年前の古い作品から新しい発見を得ることができました。第2部ポップス・ステージは、ゲスト指揮の波田野直彦氏により、スイングから映画音楽、はたまたベートーベンまで多彩な作品を輝くサウンドで、大勢の来客の皆様楽しんで頂きました。

【第1部演奏曲】オリンピカ、アーデンの森のロザリンド、トッカータ・マルツィアーレ、トッカータとフーガ 二短調

【第2部演奏曲】ブルース・オンパレード、そよ風と私、舞踏へのお誘い、男と女、Ode to Joy

【アンコール】私のお気に入り

次は、12月18日(日)に上大岡「ひまわりの郷」でクリスマス・チャリティー・コンサートを予定しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。(らっば爺)

# 2016年 横浜金沢写真連盟・横浜金沢観光協会合同公募展

横浜金沢写真連盟は、写真による表現を通して、金沢区の文化の向上と地域活性化を目指し、広く多くの人々にアピールするため、写真の公募展を毎年行っています。第3回目になる今年は、横浜金沢観光協会と合同で実施することになり、1月から応募要項を配布、3月募集、4月一次審査、入選作品の決定、5月31日(火)～6月6日(月)の間、横浜市民ギャラリーに展示しました。初日、会場にて、二次審査を公開で行った後、入選作品の講評(ギャラリートーク)を行いました。また表彰式の日には、講演会と懇親会も行いました。応募総数388点。入選・自由部門86点、金沢部門63点、講演会参加100名。会場のテクノコアの椅子が足りなくなる盛況でした。展示見学者は1533名。作品は、テクノタワーホテル、金沢区役所、シーサイドライン新杉田駅にも展示又は予定しています。2017年度は、5月9日～14日まで、横浜市民ギャラリーで行います。沢山のご応募をお待ちしております。(佐野雅子)



# 「横浜金沢を詠う」

## 平成27年後期(第15回)

### 俳句・短歌表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」第15回(平成27年度後期)表彰式が4月27日(火)、金沢区民活動センターで行なわれました。次に被表彰作品を紹介します。(野中建吾)



- 【俳句の部】**
- ☆横浜市民金沢区長賞 (天位) 朝市で賑わう秋や葉藻港 狩野興太郎
  - (地位) 金沢区東朝比奈 狩野興太郎
  - 池崎光寺門も戸口も明け放し
  - ☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞 (天位) 金沢区平岡町 中野 潤一
  - (地位) 梅の香も橋を流りし称名寺 都筑区牛久保 三浦 節子
  - ☆横浜金沢文化協会理事長賞 (天位) 野島から「釣りバカ」の船風光る 金沢区東朝比奈 森川 享
  - (地位) 金沢区東朝比奈 森川 享
  - ☆横浜金沢文化協会理事長賞 (天位) 寒入りや袖手凜と瀬戸神社 金沢区富岡西 三浦 正雄
  - (地位) 舟くぐる夕照橋に秋時雨 金沢区釜利谷南 飯山 寛志
  - ☆横浜金沢観光協会会長賞 (天位) 乙城の海の令昔百合かもめ 金沢区六浦南 岩澤 正春
  - (地位) 小寒にかもめ居並ぶ船溜り 金沢区並木 小岩 克介
  - ☆横浜金澤シティガイド協会理事長賞 (天位) コスモスの風のぼりおるののはな館 金沢区釜利谷南 柴崎 幸治
  - (地位) 香煙の木の間に流れ初不動 金沢区能見台 松尾 京子

- 【短歌の部】**
- ☆横浜市民金沢区長賞 新田の区庁舎彩るやはらかき 光の競演未来を映す 金沢区釜利谷南 秦 正子
  - ☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞 鎌倉から朝比奈を経て我が街へ 夕照橋がお帰りと 金沢区六浦 横石紀恵子
  - ☆横浜金沢文化協会理事長賞 福は内瀬戸のやしろにひびきたり 両手をひろげ福豆を待つ 金沢区平岡町 本間 和子
  - ☆横浜金沢観光協会会長賞 琵琶島に手作り灯籠らぎをり 湾に映りて群衆のごとし 金沢区東朝比奈 津田美奈子
  - ☆横浜金澤シティガイド協会理事長賞 すばまりて広がるくらげに わが息をあわせて想ふ内川橋 金沢区西柴 内藤 和子

## 文芸部活動報告

☆金沢区民俳句大会結果☆  
金沢俳句会では平成28年6月5(日)、金沢地区センターに33人の俳句愛好家を集めて、第18回「金沢区民俳句大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 捨てがたき昭和の軍笛夏衣
- さのふ瀬戸けふ段葛夏帽子
- 野島をば燃え尽くさんとさつきかな
- 夏の蝶手引きの先に長昌寺
- 白百合を詫び状代はり車に置く
- もどりくる日焼けの顔や帰帆橋
- ねばり勝ちの児や瀬戸神社夏相撲
- 噴水の飛沫に遊ぶ雀二羽
- 新庁舎江戸城襖絵初夏の風
- うたた寝に風鈴天の葉奏つ

## 朗読部活動報告

☆横浜金沢ロータリークラブ定例会での朗読☆  
4月11日午後、瀬戸町内会館にて、卓話の時間帯に、「夢一夜」から「第一夜」を、そして二度と戦争があってはならないと平和を願って「お母さんの木」を語りました。終了後、中田会長の「質問は？」との発言に対して、「感情が込みあげてきて読めなくなってしまう。どうしたら良いか?」「宮澤賢治が好きで賢治の方言で読みたいが?」と二人からの質問がありましたが、クラブの人達に熱心に聴いて頂き、嬉しくなりました。

☆並木コミュニティハウス自主事業朗読会☆  
8月7日午後、並木コミュニティハウスにて、第3回朗読会を実施しました。昨年は春と秋でしたので、今年は夏と言うことで、涼しくなるような話の小泉八雲の「耳なし芳一」や、やはり平和を願って、「原爆の火」など4作品を一人で一時間半の朗読会を実施しました。猛暑の中、ご静聴頂いたお客様には心から感謝しております。(橘 有美)



☆金沢区民短歌(春季)大会結果☆  
金沢区民歌人会では平成28年5月7日(土)、八景コミュニティハウスに20人の短歌愛好家を集めて、金沢区民短歌大会(春季)を開催しました。次に上位の作品を紹介します

- 見知らぬ人と桜木の下
- このままが続けばよいと妻の言ふ
- たがひに介護されざる暮しを
- 道の駅に変はりし校舎の庭隅に
- 金次郎の像立ちて本読む
- 「ふくしまは負けない明日へ」学童の筆力みなぎる地方紙の文字
- 花冷えとぶ言の葉やさし重ね着に
- 大同川の夜桜仰ぐ
- 絵城塙の紅さを灯し亡き夫に
- 曾孫の誕生告げて祈りぬ
- 小蛇鶏のしきりに呼ばふ朝床に
- うつらこの世を確かめてをり
- わが歌集(聴く)といふ君その一生
- 視力失せ隔離の小島にありき

- 清水八千代
- 佐藤 良二
- 酒井 治子
- 秦 正子
- 市川 定子
- 朝井 恭子
- 小林 愛子
- 高尾 文子

# 「あじさい祭り」呈茶

金沢茶道会では、今年は6月18日(土)・19日(日)、八景島客船ターミナル内にて、呈茶を行いました。10年前までは、紫陽花ロードの丘で、風雨を心配しつつ、呈茶を行なっていましたが、今年は紫陽花のどの品種も、早く咲き初めて、美しい紫陽花をバックに、青い空と海の穏やかな沖を船が行き交う日の中、お客様は「あじさい祭り」呈茶を楽しんでおられました。茶席には、「日々是好日」の短冊を掛け、花筒には、半夏生・ウツボグサ・金糸梅を活けました。2日間に来られた約200人のお客様には、抹茶に添えて、あじさいの上用饅頭を差し上げて喜ばれました。(門間宗映)



「ぼたん祭り」が開催中の旧伊藤博文金沢別邸で5月1日(日)、金沢茶道会は、恒例の「呈茶」を行いました。海風が爽やかで呈茶に適した陽気に恵まれ、開園とともにお客様がお見えになりました。今年の牡丹は4月上旬から咲き始めて終わりに近くになっておりましたが、白牡丹が未だ美しく咲いておりました。野点傘に「日々是好日」の短冊を掛け、「二人静」・「河原でしこ」の花を活けてお客様を迎えました。約150名のお客様は抹茶と笑窪の上用饅頭を召し上がられるとともに、美しい牡丹を楽しまれました。(門間宗映)

# ぼたん祭り 呈茶

## 金沢区の文学と歴史愛好会 第400回例会



当会は昭和56年7月に発足。8月21日(日)に400回の例会を迎えた。当初は例会実施後にB5版の手書きで「会報」を作り、19回目

から当日の散策コースを表紙に書くようになり、28回目の例会から手書きからワープロ(後にパソコン)に変更し、会報名を「金沢歴史散策」にしたが、金沢区外の散策資料が「金沢歴史散策」ではおかしいと会員から指摘があり、平成20年3月の第29回例会から「例会資料」に変更し今日に至っている。

今、役員は会長を含め9人、内1人は会計、もう一人は映像記録担当、残り7人がパソコンを使えるので、毎年2月に年間のコース選定会議を開催。コースが決まれば2人1組で下見から資料作りまで担当している。一般に知られている名勝旧跡めぐりではなく、ひと味もふた味も違うコースを月1回日帰りで散策するため、会員から好評を得ている。



(金沢区の文学と歴史愛好会会長 窪田修)

## 10流派の剣士が一堂に修練の技を披露 第15回瀬戸神社居合道奉納演武

本々の緑も眩しい5月21日(土)、由緒ある瀬戸神社で今年も居合道奉納演武が執り行なわれました。ひとりでも多くの方に見てもらおうと15年前にスタートした演武会、「心身を練磨し礼を重んじる居合道の精神を青少年にも伝えていきたい」と、主催の実行委員会代表、夢想神傳流第廿世正傳 高田學道先生は語ります。10流派総勢約70名の剣士たちが一堂に会し修練を披露する境内は、多くの見学者で埋まりました。

居合道の歴史は約450年前の室町時代に始まり、心姿勢、技のもと不意の攻撃に即座に応じ、刀を抜いた時にはすでに相手を制している。鞘はなれの一刀で勝負を決める日本古来の剣技です。小学生剣士から長老の剣士がくり広げる見事な演武に凛とした緊張感が走り、来場者からは「気合いと迫力に武士道のパワーをもらった」「ぜひ子供に習わせたい」など感激の声が上がりました。



(岩森耕太郎)

# NPO法人 横浜金沢文化協会 会員を募集中です

当協会は、武蔵国金沢以来の伝統をふまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的發展に寄与することを目的としています。

### 活動の種類

- 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 子どもの健全育成を図る活動、その他

### 事業

- 地域文化振興の中核となる事業
- 歴史、史跡、文化財等の調査・伝承・保全事業
- その他、当法人の目的達成に必要な事業

### 活動部門

- ◎総合文化部 ◎絵画部 ◎書道部 ◎写真部 ◎手工芸部 ◎文芸部 ◎歴史部 ◎楽器部
- ◎合唱部 ◎声楽部 ◎邦楽部 ◎吟刺詩舞部 ◎華道部 ◎茶道部 ◎郷土芸能部 ◎謡曲部
- ◎民謡民舞部 ◎陶芸部 ◎邦舞部 ◎洋舞部 ◎朗読部 ◎武道部 ◎児童文化部 ◎一般文化部

### 年会費

- 個人 2,000円
- 団体 7,500円(会員25人以下)
- 10,500円(会員26人~50人)
- 15,000円(会員51人以上)

横浜金沢文化協会員の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、名義使用の許可と、資金援助を年1回限度で実施しています。

### 会員の募集

主として金沢区に居住・在勤・活動されている方で、当協会の目的に賛同し、活動またはご協力等を頂ける個人または団体の皆様。入会及び問合せは、右記「問い合わせ先」まで、ご連絡願います。

### 問合せ先

NPO法人横浜金沢文化協会  
 事務局長 深津米男  
 電話 045-782-0705

## ☆☆金沢区に文化ホールを☆☆

長い場所となりましたが、「金沢区にある名所旧跡といえ称名寺」程度の知識しかありませんでした。塩づくりのような産業が存在していたことなど知る由もありませんでした。建物の素材や史跡保存の考え方から、保存され続ける有形のものには限定されざるを得ないのかもしれない。ただ、有形無形に拘らず、文化を伝承することは自己確認の礎だと考えています。



総合文化部 阿部 孝三  
 金沢区在住34年目の今年6月から入会しました。各地に転居した中で最も

### 個人会員紹介



歴史部 内園 一廣  
 教科書に出ていた金沢文庫、その近くの並木3丁目に移り住んで32年になります。坂さんに紹介

され、横浜金沢文化協会の会員になったものの、仕事優先で活動に参加せずにおりました。時間もでき、自分の住む金沢区の歴史に改めて興味が出てきたところに、ホームページ運営委員の話があり、有難くお受けすることにしました。今後いろいろな行事やトピックスを扱うことで、より金沢区を知り当協会活動のお手伝いもできればと思っています。

### 団体会員紹介



### 金沢民謡協会

民謡を愛する、金沢区の13支部で結成された金沢民謡協会。平成27年1月より活動を続けています。民謡の世界も高齢化が進み、各支部は会員の減少に悩んでいる中、民謡の支部をまとめ、金沢区民文化祭に参加する、という目標を掲げ団結。昨年は念願の第27回金沢区民文化祭に会員約120名が初参加。たくさんの方々に、民謡の良さを伝える事が出来ました。

今後は金沢区の小・中学校や、各所で講習会や実技指導を行い、民謡の味わいの深さを知ってもらおうのが一つ。また金沢区で三味線・太鼓・尺八などの生演奏で益踊りを開催し、老若男女が集うことが出来るような環境を作るのが、二つ目の目標です。

金沢公会堂の建て替えに伴い、第28回金沢区民文化祭「民謡のつどい」は磯子公会堂で、10月9日(日)に開催します。ぜひお越し下さい、お待ちしております。

(阿部きみえ)

**文化協会行事予定(日程順)**

9月15日(木) 初心者向け～表千家茶道教室 金沢地区センター 2階和室	(788) 4082	11月6日(日) 金沢茶道会秋季茶会 旧伊藤博文金沢別邸	(782) 8079
10月7日(金)～11日(火) 金沢区民文化祭・区民の作品展 金沢地区センター 体育館	(788) 7805	11月9日(水) アケボノゾウと小田原城見物 生命の星・地球博物館、小田原城	(788) 4082
10月9日(日)～10日(月) 金沢区民文化祭・華道展 金沢地区センター 2階大会議室	(788) 4528	11月19日(土)～24日(木) 第9回金沢区美術展 能見台地区センター・体育館	(783) 5299
10月9日(日) 金沢区民文化祭・民謡のつどい 磯子公会堂	(785) 3506	11月 金沢区民短歌(秋季)大会 八景コミュニティハウス	(781) 5044
10月10日(月・祝) 金沢区民文化祭・茶会 金沢地区センター 2階和室・ロビー	(782) 8079	12月4日(日) 金沢区民文化祭・金沢区小・中学校音楽会 横浜市立大学シーガルホール	(771) 6167
10月16日(日) 金沢区民文化祭・吟と舞の祭典 金沢区産業振興センター	(783) 2284	12月12日(月) 華道教室 金沢地区センター	(783) 4528
10月16日(日) 金沢区民文化祭・音楽のつどい 磯子公会堂	(771) 8783	12月18日(日) 金沢区民文化祭・ 金沢シンフォニカ・プロムナード・コンサート 県立音楽堂	(788) 2691
10月25日(火) 鎌木清方ゆかりの地～かなざわ・鎌倉～を巡る 鎌倉の鎌木清方美術館ほか	(788) 4082	12月18日(日) 金沢吹奏楽団クリスマス・チャリティー・コンサート 上大岡ひまわりの郷	090 7189 5298
10月30日(日) 金沢区民文化祭・三曲演奏会 磯子公会堂	(781) 1483	1月24日(火) 日本画教室 金沢地区センター	(788) 4082
10月30日(日) 金沢区民俳句(吟行)大会 金沢動物園及び金沢自然公園・ののほな館	(781) 5044	1月 金美・新春展 金沢区民活動センターギャラリー	(783) 5299
10月30日(日) 朗読教室「たちばな」発表会 八景コミュニティハウス	(785) 4757	2月 梅祭り茶会 金沢動物園	(782) 8079
10月下旬 第15回「金沢を詠う」俳句短歌表彰式 金沢区民活動センター	(781) 5044	3月12日(日) 春の大茶会 本牧・三溪園	(782) 8079

**ホームページだより③**

協会のホームページは各会員のホームページ集をめどす

「文化協会メルマガ」10号(2016. 7. 26付)の配信先は個人会員52名・団体会員のメンバー10名。このときの協会の個人会員は118名、団体会員28団体。したがって、個人会員の44%に配信です。団体会員への配信数についてはこのデータからは何ともいえません。団体会員のメンバー10名は、団体会員のメンバーで個人会員になっていない人への配信数であり、同じ団体に属する人も含まれています。個人会員を見ると、複数人が同じ団体に所属や、1人が複数の団体に所属が見つかります。では、少なくとも1人のメンバーにメルマガが配信されている団体会員は何団体なのか。調べてみると、21団体でした。これは団体会員の75%です。自分のホームページを持っていると判明している個人会員は3名、団体会員は6団体です。

これらの数値は、個人や団体で自分のホームページを持つのはかなり大変なことを示していると思います。しかし、協会に個人や団体の情報を提供し、協会のホームページに掲載されると、メルマガで個人会員の44%、団体会員の75%に通知が届き、情報の閲覧を促します。また、受信したメルマガに従ってホームページを閲覧すると他の会員がどのような情報を発信しているのかが分かります。さらにホームページでは掲載情報が蓄積されていきますので、個人や団体の書庫として利用ができます。情報の蓄積が進めばホームページの検索に引っかかりやすくなりますので、自分のホームページのように一般市民への自分達の情報発信がスムーズに出来るようになります。すなわち、協会のホームページは各会員のホームページ集ということになります。これを目標としています。会員各位からの掲載情報の提供をお願いします。(金間誠一)

**小櫃健一理事のご逝去哀悼**

NPO法人横浜金沢文化協会文芸部理事として、長年にわたり、本協会に多大の貢献をされました小櫃健一氏が3月12日、ご逝去されました。享年90歳。ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。合掌 NPO法人横浜金沢文化協会一同

**編集後記**

今回の42号から、従来の郵送による原稿に加えて、メールによる原稿をも採用しましたので、今後、いずれかを選んで、原稿送付をお願い致します。暑さは峠を越えましたが、くれぐれもご自愛のほどを。(K・N)

**編集委員**

- 阿部きみえ・遠藤 勝美・金間 誠一
- 川浪 舎人・佐野 静子・塚本真砂子
- 野中 建吾・宮崎 裕子 (五十音順)